

第2回『コロナ禍における学校オーケストラ活動の状況』調査結果

期間：2020年6月10日-6月21日

調査方法：Googleフォームアンケートを使用

対象：全日本高等学校オーケストラ連盟の加盟校（弦楽部・オーケストラ部のある学校）

No	都道府県	学校名	①合奏・分奏・パート練習について	②新入生勧誘について	③ミーティング・情報共有について	④その他、部活動で実施予定の対策等	⑤部活動再開にあたり不安なこと・分からないこと・困っていること
1	宮城県	宮城県仙台第一高等学校	距離をとって練習。	学校所有の楽器は使用後に消毒。	特になし	特になし	特になし
2	宮城県	秀光中等教育学校	まだ部活再開に至っていない。再開しても合奏はできないと思う。	本日やっと部活動紹介をオンラインで行った。これから部活再開の許可を待ち、新入生対象の見学会など行う予定。	今のところClassi（本校で使っている生徒、保護者との連絡ツール）を使い連絡している。	換気、消毒、距離をとった配置、短時間の練習時間。	いかにこの状況でも生徒が楽しく充実した気持ちで活動しているか、模索する1年になるだろう。
3	宮城県	尚絅学院高等学校	パート毎に教室を割り当て、生徒と生徒の距離を保ちながら練習をさせる。合奏は基礎的なものを週1回、部屋の広さを最大に使いながら、30分程度行う。	弦楽器は手洗い・消毒の上、実際に演奏させた。管楽器は上級生の音を聞かせる、楽器を触らせるにとどめ、パート決定まで共有の楽器は吹かせなかった。	通常通り一部屋（換気は十分に行っている）に行っている。		今後感染者が出た場合に、部活動が感染源として責任追及されることが不安。どこまでをもって「十分な対策はしていた」と言えるかも不明で、このような調査で全国の管弦楽の実態を知ることができて、それを基準に活動を決められるので大変助かっている。
4	福島県	福島県立橋高等学校	当面の間、大教室では最大でも30名程度の「分奏」、普通教室では最大15名程度までのパート練習、個人練習とし、間隔をとれる状態にして、常に換気をした状態で練習する。今のところ、弦・打楽器は演奏時も原則マスク着用。合奏をするときは、休日に校舎の吹き抜けホールを利用して行う予定。	新入生勧誘が4月の時点だったので、原則管楽器は演奏体験無し、弦楽器も貸し出す楽器を決めて使い回しせずに行った。（そんなに多くなかったのもそれで大丈夫だった。）	生徒は部内LINEを主に利用していた。		進学校であるため、今回7月の定期演奏会を8月に延期せざるを得なかったことで、学習の遅れを心配し離脱した3年生が少なくなかった。そもそも物理的に練習時間が確保できず、予定通りの演奏会の形式を取ることが難しいこともその理由となっており、部内の動揺がまだ収まっていない点が心配である。演奏会が開催できて、入場者の制限等、取るべき対策が多く、まだまだ見通しが立たないのが現状である。
5	茨城県	非公開	・換気 ・各パート1教室を使用し、同じ方向を向いて音を出す。 ・エアロゾルに関して、木管楽器はノンアルコールシートを持ち常に手は清潔に保つ。 ・金管はペットシートに水滴を落とすようにする。 ・弦楽器はマスクを使用し、間隔をあけて練習。 ・練習後は教室の除菌を行う。 ・楽器に関しては市販の除菌グッズを用い出来る限りの除菌を行う。 ・洗える部分は流水で時間をかけて洗う。	・使用前の手洗いを徹底する。 ・人数の多いときは使いまわしをせずに、体験できる楽器の数を減らす。管楽器は1回1パートになる時もある。 ・マウスピースは毎回洗浄。 ・打楽器も毎回除菌。	学校で使用しているアプリを使い、生徒とのやり取りをする。音声や動画も送れるため、課題を出し提出させ評価するというサイクルを作り、楽器を練習する目的を持たせコミュニケーションを図るようにしていた。 生徒よりも、保護者の方々に集まってもらい、意見をまとめて活動を援助していただけるように働きかけをした。	個人レッスンに力を入れ、個々のレベルを上げることを目標にする。	ありがたいことに、校長・学校側の協力もあり、生徒たちがやる気を第一に考え教員がバックアップしていくような雰囲気。とても生徒たちはやりたいこともたくさん意見をしてくれている。出来る・出来ないは別として、やりたい事を語り少しでも実現できるように教員で支えていきたいと思っている。
6	栃木県	非公開	週3日、2学年クラス担任の協力を得て、7つの教室をお借りし、音楽室、被服室等でできるだけ多くの部屋を確保して少人数に分けてパート練習を実施。音楽室での合奏はまだ難しいので、弦、木管、金管打楽器の分奏を7月から週1回入れていく予定。	すでに新入生も加入し（何と何例年並みの32名加入）、現在楽器決め最中。楽器体験は消毒を徹底させて短時間で実施。パート決めについては、経験者も初心者も、楽器希望アンケート調査を行い、管打楽器、弦楽器の両分野それぞれ第1～3希望まで書かせて集計する。各パート目標人数（必要最低人数）を決め、それを確保していく方向で希望の多いパートから他のパートへ移動してもらうよう説得していく。	密にならぬよう、集会が多目的ホールなどの広い会場で行う。音楽室の場合は学年毎に実施。	活動前の検温・手洗い、健康観察、マスクの着用（管は練習時以外）、各人1m以上の間隔をとる、管楽器の唾の処理、終了後の共有楽器の消毒、速やかな下校等。	部活動再開して2週間が経過。今のところ特に問題はないので、しばらくはこのまま続けて行く予定。合奏時の各楽器のソーシャルディスタンスについて、プロの演奏団体により様々な検証が行われている。そのような情報をまとめて提供していただけたら有り難い。
7	栃木県	非公開	特に人数指定はしていないが、楽器ごとにできるだけ場所を分けている。現在は個人・パート練習のみで初心者指導中心（しかし、生徒達は「密」状態や感染対策にはあまり神経質になっていないので、何度も注意喚起している）。	部活紹介では勧誘のための演奏ができないので、過去の演奏DVDを視聴した。6月1日から学校再開し3日間のみ見学期間で5日には全校一斉に部活決定。例年行っている楽器体験もできず説明だけした。その後、希望楽器を聞いて楽器を決定した。新入部員は11名だけでやはり少なかった。	特になし。ミーティングは一同に行う。		9月までの3年生の演奏の場がなくなり、引退を早めた。今後1年生の養成が不安。活動の目標をどこに定めたらよいか、1年間の活動サイクルの崩れによる技術習得のスピードが未知数。また運営面でも、この数ヶ月の3年生を見て育っていくはずの2年生が、今後の部活動を引き継いでいけるか本当に心配。
8	栃木県	非公開	現在は個人練習のみ。 管楽器：音楽室にて1列になり間隔を開けて窓を全開にし個人練習。 弦楽器：廊下に1列になり間隔をとって個人練習。	今回の新入生歓迎については、過去の映像を音楽室で見せたり、楽器体験については弦楽器のみ透明の手袋を使用し体験してもらった。管については行わなかった。それから、ホームページにオーケストラの紹介を見せて新入生にはそれを見もらうようにした。	ミーティングについては、音楽室にて窓を全開にし大きく間隔をとって短時間で終わりにしている。	現在検討中。	現在、目標としている演奏会がすべて中止となり、生徒はがっかりしているようだ。オケフェスが中止にならないことを祈るばかりだが、何か映像を録画したものを提出してのコンクールあるいはフェスティバルのようなものがあればいいと思っており、いろいろ探している。
9	群馬県	非公開	まだ自主的な個人練習しか行っていないが、換気を十分にしながらお互いの距離を離す工夫を考えている。	手洗いを事前事後に十分に行うなど。			
10	群馬県	群馬県立中央中等教育学校	6月中分散パート練習・7月までは合奏行わない。	7月10日から新入生活見学・7月21日部結成。	Circle Squareのアプリで連絡している。		いつ演奏会ができるかが分からない。
11	埼玉県	非公開	まだ、部活が再開されていない。	まだ、部活が再開されていない。	まだ部活が再開されていない。		パート練習・合奏の仕方・練習場所の確保・新入生が入部してくれるのかどうか。
12	埼玉県	非公開	合奏については検討中。オンラインレッスン等で講師のレッスンについては対応し、少人数でのアンサンブルからはじめていこうと思っている。	楽器体験の前後に必ず消毒をする。	Google Classroomに部活動のクラスルームを作り、楽譜とレッスン動画を共有している。		合奏をどのように再開していくか。
13	千葉県	国府台女子学院	大前提として、まだ分散登校のため、部活動の再開も、新入生歓迎も、学校としてはまったく白紙の状態。その上で、今後、部活動が再開できたとして、都市部のため、「合奏」は難しいと考えている。また楽案の段階が、小編成のアンサンブルを複数組む形で、各自で練習しておき、部活動の時間は、アンサンブル団体でスケジュールを組み、十分に広いスペースで少人数の合奏を行う、ということを考えている。	未定。生徒は、楽器を紹介する動画の作製なども考えているようだが、学校として白紙なので、動けずにいる。	顧問どうし、顧問と最上級生となる高2、部員生徒のみのLINEグループがあり、そこを通じてのやりとりはしている。特に顧問と高2の間では、やりとりはできている。また、高2内では、自分たちで様々なツールを駆使して、密に連絡を取り合ってきた。	先述のように、部員全員のフルオーケストラの合奏は、難しいと考えている。その上で、どうするかは未定。	休校期間中、顧問としてはいろいろと相談に乗りつつも、能動的なことはほとんど何もできなかった。しかし、最上級生の高2は、自分たちで工夫して、できる人だけでテレワークで合奏を行って動画を作ってみたり（顧問は完成するまで作っていることすら知らなかった）、Zoomで部会を開いたり、今後の活動アイデアもいろいろと検討してきた。ずっと理想としていた、顧問が引っ張ることなく、完全に自律して活動できる部活動が、最上級生の中だけが、図らずも実現して、非常に感動するとともに頼もしく思っている。今の生徒の姿を見てみると、今後の活動についても、顧問は極力前に出ずにアドバイスとフォローに徹するので十分、生徒自身が、この中でできる新しい部活動を生み出していくと信じていることができる。
14	千葉県	聖徳大学附属女子中学校・高等学校	部活が再開されていないが、音楽室に入室する前の手指消毒と距離をとっての個人練習。合奏は当然無理だと思われる。	再開されていないので未定。	再開されていないので未定。	再開されていないので未定。	今年度の音楽行事が実施できるのかどうか？昨年度末に予定していた定期演奏会が実施できなかったため、昨年度の卒業生も交えて演奏会ができるのかどうか心配である。
15	千葉県	千葉県立小金高等学校	6/15まで部活動自体が禁止になっている。	上記の理由により勧誘自体が始められていない。	LINEを利用して意見の交換をしている。	今のところはなし。とにかく始まったならミーティングから開始する。	果たして演奏活動ができるようになるかどうか。ウィーン・フィルの活動開始が伝えられたが、そのような例がもっと増えてくれると良いと思っている。
16	千葉県	千葉県立千葉女子高等学校	千葉県では7月末日まで合奏は禁止されている。少人数でのアンサンブル練習は許されているので、パート毎に指導をしていく予定。朝練習は禁止されている。放課後の練習も30分しかできないので、昼練習の時に楽器を準備しておく。レッスン室等は複数で使用しない。一定時間音出しをしたら、換気、手洗い、うがい、消毒をする。	新入生に直接話しかけたり、チラシを渡すことは禁じられている。ホームページに部活紹介記事を載せたり、YouTubeで演奏を公開する予定。楽器体験は、毎回消毒を考えている。	ミーティングは、ソーシャルディスタンスを守り、同じ方向を向いて話すように心がける。	8月1日から演奏会を開くことができるので、夏休みに複数回、コンサートを企画する。	不安なこと：新入生がオーケストラ部に入らないのではないかと。この先、例年行われている行事が中止になり、演奏機会が大幅に減るのではないかと。来年3月のヨーロッパ演奏旅行は実施できるのか。コロナウイルスによって経済的に厳しい生徒が退部してしまうこと。困っていること：3年生が全く音を出すことなく引退してしまうこと。部員たちが本当に気の毒。講師を呼ぶことができないこと。（7月末日まで）

No	都道府県	学校名	①合奏・分奏・パート練習について	②新入生勧誘について	③ミーティング・情報共有について	④その他、部活動で実施予定の対策等	⑤部活動再開にあたり不安なこと・分からないこと・困っていること
17	千葉県	千葉県立千葉中学校・高等学校	まだ開始されていないが、廊下、ベランダなどのスペースを使って密にならないように個人練習をすることを考えている。	楽器体験は無しで、上級生が楽器の魅力を伝えるようにする。	曲決めなどでは、LINEでの連絡を活用する。	県教育委員会からは、合奏をしてはいけないという通達なので、工夫して合奏するという余地もないので、どう対応すれば良いのかわからない。	県教育委員会からの通達では、完全下校時刻（16:30）や、朝練の禁止、合奏の禁止、合宿の禁止、演奏会の禁止など具体的な禁止事項が多く、困惑している。長い間我慢していたのに、制約だらけなので、生徒の精神面がとて心配である。
18	千葉県	千葉県立津田沼高等学校	各教室4名までの個人練習のみ可。合奏・分奏・パート練習は今のところ出来ていない。	新入生は見学のみ可。初心者楽器体験は今のところ実施方法未定。	少人数なので、ミーティングはマスク着用で従来通り実施。	特になし。	平日の活動時間は正味30分しかない。毎日音出して終わってしまう。合奏が許可されるのを今はひたすら待つしかない。
19	千葉県	非公開	活動が再開されていないので想定範囲を超えない点も多い下記のようなことを考えている。 ① 合奏は、大人数を収容の音楽ホール座席に十分な間隔を取る配置で実施予定。（ホールには換気・空調設備も完備している。それらをフル活用した上で、全ての扉を開放して実施する） ② 音楽教室を使用する場合は、1教室当たりの人数を弦楽器10名までとし、換気扇と空調を稼働させたらうて窓を開放する。熱中症対策を睨み、大型扇風機を置いて、室内の空気が常に流れるように配慮する。 ③ 打楽器については、音楽ホールの舞台を開放し、広い空間で練習する。 ④ 管楽器対策については、検討中。楽器の特性上屋外での練習には近隣からの苦情が避けられない。	学校全体で新入生向けのクラブ紹介WEBページを作成して配信した。この中に、部活の概要、メンバー構成、年間活動、現状等の詳細を記載。また、入部希望者への窓口（問い合わせメールアドレス、代表生徒へのアクセス方法等）を明記。新入生部員のパート決めなどは、今後の入部希望者を見て対応。	顧問と幹部のLINEグループで必要な情報を共有。幹部からその他の部員への連絡は、全体連絡・パートリーダー経由の連絡、学年別の連絡等数種類の連絡手段を用いている。様々な未確定情報が錯綜しないように配慮している。また、オーケストラ部の保護者専用のグループを学校独自のネット上に置き、部活の方針等や必要な相談事を適宜伝えている。こまめな情報共有が、円滑な運営に役立っており、生徒・保護者共に極めて協力的である。	顧問の一方的な考えでなく、生徒や保護者のニーズを的確に把握しながら、可能な対策を講ずることを心掛けている。特に、先々のスケジュールを俯瞰して共有すると共に、万一の第2、3波への対応も話し合っている。また、この期間だからできる事、例えば楽器庫の清掃整備、楽譜の整理、楽曲の編曲、名簿の作成、必要な音源の整理等を行っている。	目標とすべき大会等が（コロナ終息の場合は）いつ実施するのか、具体的な日時が示されないことに困っている。生徒のモチベーション維持も難しく、練習プランも示しにくい。
20	千葉県	非公開	換気の徹底、手指の消毒。	マウスピースは毎回消毒	Google Meet		
21	千葉県	非公開	活動の際の感染予防体制は大きく分けて次の3点。 ①うがい手洗いの励行 ②アルコールや楽器専用クリーナーでの楽器の消毒（弦楽器は肌に接する部分についてはハンカチで被せることで学校楽器の貸し借り、交換を行っている。ただし必要最低限） ③部活動終了後の次亜塩素酸希釈液による使用施設の消毒。また、2メートル以上の社会的距離の確保はもちろんのこと、対面による練習はNGとなっている。	今年度はTwitterやInstagramなどのSNSを用いた勧誘がメイン。YouTubeや部活動HPも活用。緊急事態宣言が出されてから約2か月間、各種SNSにて年間行事や学校施設などの紹介企画を生徒が自主的に継続した。この様子は朝日新聞全国版「列島を歩く」などで広く報道されている。基本的に校内では3密を避ける観点から、先輩が新入生の教室に入室しての直接的な勧誘活動は全面禁止となっている。新入生歓迎コンサートも実施していない。	グループLINEによる幹部ミーティングは、コロナ自粛期間中から熱心に行ってきた。パートリーダー、各種リーダーを集めるときは、外の広場や可能な限り広い部屋で換気を徹底するなどしながら実施している。実際にそのようなことができるようになったのは6/15以降。	トヤマ楽器、ヤマハなどの音楽関係企業も楽器演奏による飛沫拡散状況について研究し、その結果をネット上で情報公開している。東京都交響楽団の実験などもある。また愛知県吹奏楽連盟のガイドライン、シュテファン・N・ヴィリヒ医学博士らによる「新型コロナウイルス（COVID-19）パンデミック期間中のオーケストラ演奏業務に対する共同声明」なども非常に参考になる。全国各地の吹奏楽部、オーケストラ部での対策が進んでいるのでそれらを参考にしている。その中でやはり弦楽器を用いる部活動についての参考資料が少ない印象がある。最近では科学研究、実験が確かに増えてきているが、それらを自治体の教育委員会がどこまで見ていて、どこまで対応を進めてくれているかは甚だ疑問。公立学校の対応がかなり遅れている。	
22	千葉県	非公開	当面、中／高・弦／管で活動日を分けて、パート練習中心に行うことを検討中。	勧誘はポスター掲示によるのみ行う予定（学校からの指示）。	顧問と中高幹部生徒とでLINEによる報連相→幹部生徒より中高部員にLINEにて情報共有。		（1）換気方法：現在練習場所として使用しているホールに窓がないため、換気が出入り口ドアからしかできない。楽器庫も同様でしかも狭いので密になることは避けられない。この状態で練習をさせて良いのか非常に不安。 （2）配置方法：どの程度ソーシャルディスタンスを保てば安全かわからず不安。特に管楽器についてはどういった配置をさせれば良いのかわからず怖い。 （3）生徒の健康状態の把握方法：学校では、部活動開始前に顧問による健康状態チェックを義務化することが検討されているが、部員数が中高合わせて80名前後いるため、きちんと把握しきれるか（例えば遅刻した生徒をとりこぼしたり、本当は具合が悪いのに無理をしている生徒を見抜けなかったりといったことがないか）が非常に不安。 （4）合奏再開時期について：パート練習までは行えるかと思うが、分奏や合奏がいつから行えるかわからないため、今後どのような形で練習を行えば良いのか見通しが立たない状態。仮に今後数か月以内で合奏が行える状態になったとしても、秋～冬に再び新型コロナが流行した場合のことを考えると、全体での合奏を急遽に置いた練習メニューを考えて良いのかわからず、頭を抱えている。 （5）新入生勧誘：今年度は積極的な勧誘が行えないため、どこまで新入生にアピールできるかわからない。また、楽器体験をどうすれば良いかについては全くわからず困っている。文科省からは共有物は消毒せよとの指示があったが、楽器についてはどうすれば良いのか。様々なオーケストラで検証が行われているが、情報に食い違いもあるため、何を参考にすれば良いのかわからない状態。知見があればぜひ知りたいと考えている。 （6）今後の演奏会：オケフェスや地域のジョイントコンサート、年度末開催予定の定期演奏会がどうなるか。現状新型コロナの特効薬やワクチンがない以上、再流行した場合は今と同じような事態になると思われる。そうなること、中高合計80名前後いる当部は、全体での合奏以外の曲選定なども検討する必要が出てくる。その点をどうするか悩んでいる。
23	東京都	玉川学園			Google Meetで行っている。		
24	東京都	大妻多摩中学高等学校			弦楽部では実施していないが、一部のクラブではZoomを使用したミーティングを実施している。		他校の情報はとても参考になる。本校では未だすべてのクラブ活動の再開の目処が立っていないため上記の質問にお答えできないのが現状。
25	東京都	田園調布学園中等部高等部	今学校で部活再開のガイドラインを作成中。1教室5人程度の活動といわれ、頭を抱えている。	勧誘は全部活が動画を作成した。楽器体験はどうしたものか悩んでいる。	GoogleのClassroomを使っている。これはとても便利。	今まさに部活再開に向けて、話し合いをしているところ。	このような状況の中、他校の皆様がどのように部活をされているか、まさに情報が欲しい時だったので、連盟のこのように意見をまとめてくださって本当にありがたい。本校の取り組みも、決定次第共有させていただきたいと思っている。全国の生徒達の演奏活動が、安全にかつ最大限充実した内容で実施できるよう、頑張りたい。
26	東京都	都立駒場高等学校	今はまだ新入生勧誘中心。まだ当面管楽器は練習が厳しい。今後弦楽器は距離を保って練習。換気も行う。	どの楽器体験前も使用前使用後に手指をアルコール消毒。リードは使い捨てかプレゼント。マウスピースはマウスピースクリーナーなどで消毒。手が唾に触れないために使い捨てゴム手袋装着。また、管楽器は校長が教育委員会に問い合わせしたところ1人1部屋しか使えないとのことだったので、ZOOMで先輩が楽器の奏法を教える。顧問だけはその部屋に同席することが許可されている。管の部屋には使い捨て飛沫防止シートを利用して終了後に捨てる。唾もキッチンペーパーか使い捨てボロ布などに垂らして捨てる。処分は顧問が行う。	ほぼオンラインで行う。		
27	東京都	品川女子学院	弦楽器：全て分奏という形で来週から再開する。1日1教室しか利用できないことに加え、人数制限が厳しいため、基本的にVnとValは自宅での練習を継続し、自宅での練習が困難なVcとCbを優先する形で活動を再開する。 管楽器：活動の禁止が当面続く見込みだが、打楽器以外は全て各自楽器を持ち帰り、課題を動画で撮影して提出するというのを週1で実施している。	1年生の直接的な部活動勧誘がまだ禁止となっており、生徒会主導で動画での活動紹介と勧誘活動を実施している。楽器体験は、特に弦楽器の消毒は難しいので、勧誘活動が再開されたら、練習風景の見学と、オーケストラを知ってもらうためにYoutubeを共有するなどして勧誘活動を実施する方向で調整している。	ミーティングはSlack(ビジネスチャット)、Zoom(オンライン会議システム)を利用し、パートごと・幹部ミーティングを実施している。		

No	都道府県	学校名	①合奏・分奏・パート練習について	②新入生勧誘について	③ミーティング・情報共有について	④その他、部活動で実施予定の対策等	⑤部活動再開にあたり不安なこと・分からないこと・困っていること
28	東京都	豊島岡女子学園	全体合奏を避ける。	楽器体験はなし			
29	東京都	明治大学付属中野中学・高等学校	教室での練習が中心となるので、消毒・換気を行いつつ、生徒同士の距離をとらせる。対面での練習を避けさせる。	学校全体で見合わせている。	オンラインで行っている。		最終下校時刻が早まるので、十分な活動時間が確保できないこと。
30	東京都	嗣友学園女子中学高等学校	・練習に使用する教室について、管楽器2m、弦楽器1.5m間隔あけて入れる配置を測定し、部屋に定員を設けている。 ・ドアは常に開け、30分に一度換気。必要な場合は送風機を置く。 ・活動終了後、①楽器片付け→②荷物を寄せる→③机を拭く→④床を拭く、の手順で清掃を行う。 ※以下のリンク先の内容を部員で共有した。 https://note.com/fukudayosuke/n/nd9be5dd9812a	楽器体験は極めて難しく、パート決めは先送りする可能性あり。過去の演奏会の動画を見せたり、アンサンブルの演奏を行うなどで代替しようと考えている。	従前よりGoogle Classroomを活用。Zoomによるミーティングを実施した。		
31	東京都	非公開	6/22～6/30は昼休みに3パートずつ個人練習。7月からパート練習開始予定。複数の部屋に分かれて人数制限、30分練習で10分換気。		メールで連絡		合奏のやり方。
32	神奈川県	関東学院中学校高等学校	少人数での活動しか方法がないと思う。	新入生の募集は早くして7月、場合によっては9月以降も予想される。このため過去の活動動画等を使ってYoutubeで活動紹介をしている。(4月から11本製作)	Google Meetを学校として導入しているのでミーティングを使って週1回程度リモートでのパート練習は実施している。(現実には時間を共有するというだけのもの) また活動日に合わせて(月水金土)17時40分～20分程度のオンラインミーティングを実施している。月曜 高校生 水曜 中学2年生 金曜 中学3年生 土曜 全体 この形で週あたりのやっていることを共有している。学校での活動がまだ先になる場合はミーティングでのトレーナーの先生との個人レッスンも今後実施していく予定。	夏、秋の本番はおそらくキャンセルなので、とりあえず年度の集大成の定期演奏会の音楽面以外の準備を幹部学年の生徒たちと開始している。	おそらく東京・千葉・埼玉・神奈川あたりが部活動再開が一番遅くなると思われる。このため開始した地域の具体的な対策を教えていただけると非常に参考になる。
33	神奈川県	青山学院横浜英和中学高等学校	未検討	未検討	Zoom、Google Classroomの活用	特にありません	再開がいつできるのかが不明。
34	神奈川県	捜真女学校高等学部	パート練習の比重を増やし、大人数が1教室に集まる機会を減らす。合奏は広めの教室で実施する(活動が再開する場合)。	学校全体の方針が出ていないため未定。	学年代表に顧問からメールを送り、それを各学年に伝えてもらっている。今後、Google Classroomを開発予定(学校全体としては授業・HRのために運用を既に始めている)	最初の本番がいつ・何になるかの見通しは立っていないが、取り組む曲を決め楽譜を配布、個人練習を始めてもらう予定(6月中)	
35	神奈川県	非公開	当面の間、学校で部活動再開の予定がないのでなんとも言えない。9月末まで分散登校を行う予定なので、おそらく10月以降に部活動が再開すると思う。	本校では、新入生の入部は10月以降になると考える。先が見えず、何も対策できていないのが現状。	Google Classroom、Google Meetなどを使ってミーティングを行なっている。	各自、自宅にて個人練習を行っている。	合奏、分奏などができないので、オーケストラフェスタ本番までに曲が仕上がるのかどうか心配。
36	神奈川県	非公開	検討中	未定	Google Meetを利用したオンラインミーティング		活動は7月から再開予定だが、舞台上の間隔や配置、管楽器の唾対策、共用物の消毒など、具体的にどのようにすべきか。
37	神奈川県	非公開	・他人との間隔をなるべく空ける。 ・窓、扉は可能な限り開放する。 ・マスクにマウスピースを通せる穴をあけて演奏中も着用する。	・勧誘用の動画を作成する。 ・使用した楽器や備品について、可能な限り消毒を行う。	他人との間隔をなるべく空け、短時間で行う。	1日の練習時間を最大で2時間に設定する。	なし。
38	長野県	非公開	窓や入口を開放し、生徒同士距離をとっての個人・パート練習(当面全体合奏は行えない)。	使用前後で手洗いや手指消毒、管楽器はマウスピースを洗浄消毒。			
39	長野県	非公開	離れた位置で練習する。	特になし	特になし	部室では2人以上にならないこと。	練習時間が不足していること。
40	岐阜県	岐阜県立大垣南高等学校	パート練習は、何箇所に分散して行い、顧問がその指導に当たる。練習前、後の手洗い消毒の徹底。	新入生への勧誘は難しく、見学を勧めている。	全員が集まることはさけ、連絡はパートリーダーより部員に伝える。	3密を避けること、消毒をすることを生徒同士でも徹底するように指導する。	生徒は、この状況で今年のオーケストラフェスタが開催されるかと心配をしている。
41	静岡県	静岡県立清水南高等学校・同中部	本校は6月16日現在、中中部1年生から高校2年生まで5学年で約90名の部員で活動している。6月2日から部活動は再開されたが、合奏についてはまだ許可が下りていない。平日は、13パートを6ヶ所(第1音楽室、第2音楽室、大会議室、視聴覚室、普通教室×2)の場所に分け、できる限りソーシャルディスタンスを保ちながらパート練習&個人練習を行っている。同時に、基本的な事が、天気が雨でなければできるだけ窓を開け換気の良い状態を心がけている。休日は、大会議室(普通教室と廊下を合わせて3つ分のスペース)にて弦楽器分奏と管打楽器分奏を行っている。休日の活動時間は「部活動ガイドライン」に従い3時間になったため、分奏時間はそれぞれ1時間程度。大会議室には、3人掛けの長机が52程あり、1つの長机に1人、1列ごとに右端と左端にずらして座らせている。また、授業や学年集会などでも使用する部屋のため、長机は全て同一方向(前方)に向いている状態。そのため、ソーシャルディスタンスについてはある程度確保できたと思っている。しかし、ソーシャルディスタンスを確保したため、弦楽器のブルトの制度は機能しなくなった。	勧誘方法について、今年度は何も行いませんでした。それでも第1回の希望調査(仮登録)では21名の中中部1年生が管弦楽器部を選択してくれた。楽器体験については、金管楽器のマウスピースだけその都度、食用アルコール消毒液で消毒する程度。(楽器体験、6月15日の段階で、1日45分×3回しかできていない。)	最初の内は、高校3・2年生にはBenesseのClassiを使い、高校1年生と中中部生には高校3・2年生からパートのLineを使い情報共有を行っていたが、4月中よりBenesseのClassiの繋がりが悪くなったため、この方法は止めた。その後は、学校の一斉メール配信と同じシステムを使い、管弦楽器部独自の斉メール配信に切り替え、大切な連絡事項は顧問から送られる斉メール配信にて情報共有を行うようにした。	共有物として、パイプ椅子で手が触れる部分を食用アルコール消毒液で活動終了後に顧問が噴霧している(拭き取りは行わず、吹きかけるだけ)。また、譜面台に関しては、今後1台ずつ使用者を決め、共有使用を行わない方法に移行していきたいと考えている。今後、感染予防の対策については他校の実施例を学ばせていただき、本校で継続可能なことを検討していきたいと考えている。	新型コロナウイルスに関することではないが、静岡県の公立高校である本校では「部活動ガイドライン」に関する指針が本年度より文化部にも適応されることとなった。私立の学校などにおいては学校によって様々な判断がなされていると思われるが、国公立学校においては週末の活動時間において大きな制限がかけられているのではないかとと思う。「部活動ガイドライン」が適応されるようになり、部活動の年間の運営方法(考え方)や定期演奏会の在り方(選曲)などについて工夫されている点などがあれば是非御教授頂きたい。
42	兵庫県	須磨学園高等学校・中学校	三密を避け、同じ方向を向いて練習をさせている。窓は開け放ち、マスクをして練習できる楽器はマスクをつけさせている。	ズームによる演奏指導を見学できるようにしている。部紹介動画を作り、streamで見ることができるようになっている。	使用ツール: Zoom、Microsoft Teams		学校内での活動時間が限られるため、合奏の時間を取りにくいこと。ズームによる合奏も検討したが輪唱のようになってしまう。
43	奈良県	非公開	ひと部屋に入れる人数を上限20名程度に制限し、なるべく間隔を空かせて練習をしておく予定。そのため、合奏が各パート数名ずつの班を作成し、班別に実施していく予定。	新入生の部活動が禁止されている状態がまだ続いているため、特にまだ考えていない。	顧問からの連絡事項や、楽譜の電子データなどを幹部におろし、幹部からLINEグループなどを用いて全体に拡散するようにしている。		
44	岡山県	岡山県立岡山山城東高等学校	合奏は一人一人間隔をあげ、譜面台は一人一本使用している。教室は常に窓を開け、エアコンもつける。パート練習は密にならないように気をつけている。	弦のみなので、楽器に触れる前後、手を消毒してもらっている。	部活動が再開できているので、ミーティング等には困っていないが、休校中は、Classiを活用していた。	特になし。	特になし。

No	都道府県	学校名	①合奏・分奏・パート練習について	②新入生勧誘について	③ミーティング・情報共有について	④その他、部活動で実施予定の対策等	⑤部活動再開にあたり不安なこと・分からないこと・困っていること
45	岡山県	非公開	合奏は少人数で部屋を分け、指揮者が指導して回ることになっている。	楽器体験：弦楽器、打楽器のみ実施。新入生には楽器、弓、スティック等を持つ前に手を消毒してもらい、使用後も消毒してもらっている。世話役の上級生は、ニトリル手袋を着用している。演奏して指導する上級生は自分の楽器のみ使用している。管楽器セクションは上級生が定期的にアンサンブル演奏を披露している。（他のセクションも実施している。）			
46	広島県	広島大学附属中・高等学校	当面全体合奏は禁止し、最大形態は弦分奏・管打分奏までになっている。活動場所確保に顧問で色々お願いに回り、校内協力を得てなんとかやっている。基本全ての窓を開放し、活動前後は必ず手洗い（管楽器はうがいも）必須。管楽器は現時点では、学校楽器の使い回しは一切禁じている。全ての楽器は、活動後に除菌をしている。（その際、担当する生徒にはキッチンビニール袋を両手に装着させる）ソーシャルディスタンス6フィート(約1.8m)を守るように、徹底しながら活動させている。	勧誘方法については学校としてルールがあり、それから逸脱した勧誘活動は禁じられているので、それを守らせる（我慢させる）のが大変。本当は、もっと1年生のHR教室にスカウトに行ったり校門付近で演奏したり、そんなことがしたいだろうが・・・うちでは我慢させている。音楽室に来てくれた生徒に対し、しっかり優しく説明・体験をさせるように言っている。楽器体験も教える方はビニール袋装着、マウスピース使用が必要な楽器の使い回しは、今季は止めておくと論じている。	学校としてはGoogle Classroomを活用しているが、基本は、1週間に1回程度、直接集まって主だったメンバー（班長・副班長・学生指揮者・セクションリーダー・顧問）でミーティングをしている。本当はLINEなどを使ったら便利だが出来るだけそれらには頼らず、直接会って話をする、を心がけている。	共用楽器の使い回し禁止。手洗い・除菌・ディスタンス確保。毎回の出欠席調査と健康チェック。少しでも体調不安のある生徒は、参加させない。	いつまでこの状態が続くのだろうか・・・これにつきる。同じオーケストラ界で、それぞれ頑張っている学校さんと、情報共有なり、横のつながりを希望する。フェスタ=連盟は、もちろん頑張ってきたことを演奏として披露し合い評価し合うことも大切だと思うが、今はこの状況下でどのようにそれぞれ工夫し頑張っているのか。これを共有し支え合う大切さ。これが、全国の連盟としてつながることの「大きな意義」になっているのではないだろうか（私見）。
47	広島県	山陽女子学園中・高等部	現在のところは、合奏は行わず、パート練習・セクション練習までになっている。とにかく密にならないように、気を使いながら実施している。	すべての体験楽器を消毒。管楽器もマウスピースなども1人が終わるたびに水洗いのうえ消毒している。弦楽器・打楽器も、ノンアルコールシートで拭く、消毒のチェックリストを作り報告させている。	Classiや部内のメールなどを利用。オンライン合奏も実施。現在は通常通り集まって活動している。		体験などのやり方や、どこまでやればいいのかの基準。ステージ1でもどこまでやるべきかを考えていきたい。
48	徳島県	徳島市立高等学校	本校は少人数での活動ではあるが、それでも合奏はまだ難しいため、現在（6/10）は個人練習とパート練習のみで行っている。今週末あたりからセクションごとの分奏を開始しようと考えている。近隣校や他部の様子を見ながら徐々に活動形態を大きくしていきたい。練習は教室棟や管理棟とは別の芸術館（3階フロアに音楽室の他に2つのアンサンブル室、4つのレッスン室）で行っているのだが、音楽室はじめ各教室の窓がすべてはめ殺し（防音のため？）になっているため換気が非常に悪く、入り口ドアを開放し、特に管楽器は室内ではなく、廊下で練習している。1階2階の書道や美術の先生方に協力していただいて、教室前の廊下やフロアを使用させてもらっている。外気が入るように非常口も開放して練習していたところ、近隣から苦情が入ったとのことで、対策を急いで考えている。音楽室には大型の扇風機を購入し、少しでも換気ができるようにはしているが、効果についてはあまり期待できないのではないかと思っている。管楽器については水抜き時に飛沫が飛散ないように従来の唾皿は使用せず、ペーパータオルで吸収して廃棄するようにしている。また、練習後の床を必ず拭き掃除している。マスク着用については学校からも厳しく言われているが、管楽器はそもそも無理なのが、会話するときには必ず着用するように指導している。	楽器自体を消毒することは不可能なので、新入生を含め、参加者は入室前に必ず手洗いと手指消毒を行ってから体験を実施した。管楽器はマウスピースを洗浄するぐらいの対応しかできなかったため、個人持ちの楽器やマウスピースを持参した者だけが体験させられなかった。体験入部の期間が今年度は3日間程度しか取れず、行事としての部活動紹介も各部1分程度でパフォーマンスも禁止だったため、見学者は例年よりもかなり少なく不安だったが、入部者は昨年と同数の12名となった。新入生歓迎の行事（例年は引退した3年生も交えてのボウリング大会）は行えないままだが、今後の状況を見て、夏休み中に何かできることはないか考えている。	休校中での幹部生徒引き継ぎだったため、新2年生全員のLINEグループで顧問から連絡やPDFでの楽譜配布を行っていた。再開後は例年どおり休日練習開始前に練習内容等についての全体ミーティングを行なっている。部長・副部長・コンマスは別のLINEグループを作っている。どちらのグループも顧問からの連絡伝達用にのみ使用している。	部活に来たらまず手洗いと消毒、うがいを徹底させているが、手指消毒剤はまだ入手が難しいため、顧問が昨春秋に購入していたものを配置している。マスクや個別のウェットシート等は個人で準備するようにとのことが、用意できなかった者にはこれも顧問のものを持ってきている。食事を介した感染を防ぐため、今のところは休日練習は午前のみで実施している。	合奏の開始時期や実施方法について他校の様子を伺いたい。また、換気をしながらの防音対策についてどのような方法があるだろうか。
49	福岡県	福岡市立福岡西陵高等学校	合奏はしばらくせずに、分奏からチャレンジする予定。通常よりも距離をとって座り、指揮者と奏者も離れて、指揮者はプラスチック製の透明ボード越しに指揮を振ることを考えている。	勧誘のために動画を作った。（オケだけでなく全部活動で）楽器体験はできないので、実質見学だけを行っているところ。	全員で集まらない時期は、Zoomで顧問と部員、または部員だけでミーティングをした。	管楽器は、唾用のタオル・布等を自分で持ってくる。全楽器、向かい合って演奏しない。	コロナ禍でコンサート等全て中止になり、通常通りの活動もできず、勧誘も思うようにできず、不安だったが、このように他校の皆様と情報共有できるだけでも安心できる。今まで通りのことができなくても、活動が縮小しても、これは新しい部活動のあり方を模索する時期なのだと前向きにとらえて、今は安全安心を最優先とし、少しずつ活動していこうと考えている。